

# 令和4年度 第1回「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」 議事録

1. 日 時 令和4年8月23日(火) 15:10～16:45

2. 場 所 Zoom によるリモート会議

3. 出席者 橋本親典、前川英介、尾寄秀典、椎野彰浩、根口百世、小松博英、林和彦、角野拓真、松川将太 (オブザーバー)

4. 配付資料

<配付資料>

資料-1 令和4年度第1回「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」出欠一覧

資料-2 令和4年度四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」委員一覧

資料-3 コンクリート教育モデル活動校一覧表(2006年～)

資料-4 コンクリート関連企業への就職者数調査 (平成27年～令和3年)

資料-5 コンクリート教育モデル校 パワーポイント資料

5. 議題

近藤幹事長が zoom 会議の接続困難で欠席したため、議事進行は橋本支部長が行った。

・以下について審議し、次の結果を得た。

(1) 委員長挨拶

橋本支部長から、本委員会の活動に関する紹介がなされた。

(2) 近況報告

資料1を用いて、各委員の近況報告がなされた。

(3) コンクリート教育モデル活動校による活動の中間報告

徳島県立つるぎ高等学校 松川将大先生から、資料5を用いて「本校におけるコンクリート教育の取り組み(仮題)」の説明がなされた。この説明に対して、委員から質問や意見があった。

(4) 令和5年度コンクリート教育モデル活動校の審議・決定

資料3を用いて、令和5年度モデル活動校の審議を行った。

・モデル活動校について

令和5年度は高知県の順番であり、根口先生に検討していただいた。審議の結果、高知工業高等学校定時制建築科の根口先生になった。なお、根口先生が異動になり、コンクリート教育に活動が困難になった場合は、高知工業高等専門学校ソーシャルデザイン工学科の近藤先生にお願いすることになった。

・要望予算額について

今年度と同額の150,000円を要望することになった。

・コンクリート甲子園参加校への支援金について

今年度のコンクリート甲子園に出場した学校には、最大2万円の援助をJCI四国支部として支出する。次年度も同様に1校20000円を要望することになった。

(5) 令和4年度 コンクリート関連企業への就職者数調査について

資料4を用いて、調査結果の報告がなされた。令和4年度は、生コン系1名、製品製造系2

名、その他 2 名の合計 5 名であった。

(6) その他

・話題提供として、角野委員から、「企業からみたコンクリート教育について」の講演がなされた。これに対して、各委員から質問があった。

・橋本支部長から、JCI2024（松山）の生コンセミナーでは、生コン業界を中心としたコンクリート関係の技術者の育成に関する話題を取り上げたい。できれば、本委員会活動を全国から聴講される参加者に紹介したいとの話がなされた。

6. 次回委員会開催日について

今年と同様に zoom 会議とし、来年 8 月頃に開催することが承認された。

開催日時は、近藤幹事長が来年 6 月頃に調整する。

なお、来年度の委員会委員長は、上田隆雄副支部長（来年度支部長）になる予定。

（記録 橋本親典）